

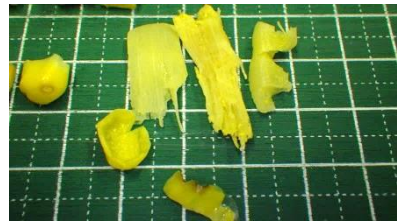
Q:「コーン缶詰に茎のようなものが入っていました。」

A: ハスク(コーンの皮や^{くきへん}茎片)です。

コーンの皮剥きや粒のカットはオートメーション機器で行っていますが、皮や茎を完全に除去することが出来ません。その後の選別工程でカラーソーターやエアブロー、目視などによる除去に努めていますが、混入を完全に防止することは困難なため、製品に混入する場合があります。

その他に、変色果、傷害果、病変果(スマット等)が混入する場合がありますが、製造時に加圧加熱殺菌を施していますので、万が一食されても健康面での心配はありません。

パウチ製品についても同様な混入が発生する場合があります。



※原料コーン由来の「夾雑物」として次のようなものが製品に混入する場合があります。

◆変色果



加熱殺菌によってコーンの粒が褐色に変色したものです。タンパク質やアミノ酸、糖などが化学的に作用して褐色物質を生成するメイラード反応の一種です。

◆傷害果



コーン栽培中に、虫害や鳥害を受けた粒です。加熱殺菌時に発色が顕著になります。



◆病変果(スマット等)



この画像は、世界中のコーン栽培地で確認されているスマット(黒穂病)と呼ばれる病気により変質した粒です。コーン栽培時に原因菌の孢子が付着すると発病し、一般的には粒が真黒く乾燥した状態に変質します。また、細かく破碎状態になることや粒が肥大化する場合があります。

本会取扱のコーン製品

- ・タイ産ホールコーン缶詰
- ・タイ産ホールコーンパウチ(1.8kg)
- ・タイ産クリームコーン缶詰
- ・北海道産ホールコーンパウチ(1kg)